

令和 7 年（2025 年）に向けた（具体的）対応方針の変更について

<医療機関 2025 プラン（鹿野博愛病院、下松中央病院）>

令和 3 年 1 2 月 9 日

目 次

・ 医療法人緑山会の移管・転換・建替について……………	1
・ 下松中央病院（変更後の2025プラン）……………	3
・ 鹿野博愛病院（変更後の2025プラン）……………	6

医療法人 緑山会の移管・転換・建替について

1、移管、転換、建替の趣旨

当法人では鹿野地区で鹿野博愛病院（慢性期74床）、下松地区では下松中央病院（回復期28床、慢性期71床）、須々万地区で周南高原病院を運営していますが、鹿野地区では人口減少と高齢化の更なる進行に伴い、慢性期でも比較的医療必要度の高い療養病床のニーズが年々減少する一方で、高齢者の生活の場として医療と介護をバランス良く提供できる施設の整備が求められています。

一方で、下松地区については今後、高齢化が本格化し、在宅で療養中の患者にも対応できる回復期が不足することが見込まれています。また、慢性期についても過剰となることを見込まれているものの、長期療養が必要な患者については一定程度の受け皿は今後も必要と考えられます。

こうしたことから、鹿野博愛病院（74床）について、1病棟（38床）を下松中央病院に移管するとともに、残りの36床についてはⅡ型介護医療院へ移行したいと思います。

下松中央病院については、今後、建替に合わせ、慢性期病床の一部を回復期に転換し、地域の医療ニーズに応じていきたいと考えています。

2、全体の動き

下松中央病院には医療療養病床のまま移管し、残りの36床は病床機能検討部会、地域医療構想調整会議の承認を得て、2022年4月1日に介護医療院の開設を予定しています。

また、R6年度に下松中央病院の建替を行い、建替時に慢性期109床のうち18床を回復期へ転換し、回復期46床、慢性期91床とする計画をしています。

<下松中央病院>（下松市古川町）

	変更前		R4.4.1 増床		R6 予定 回復期転換	
	病床	内 訳	病床	内 訳	病床	内 訳
一般	28床	回復期 28	28床	回復期 28	46床	回復期 46
療養	71床	慢性期 71	109床	慢性期 109	91床	慢性期 91
計	99床		137床	病床移転+38床	137床	建替に伴い転換

<鹿野博愛病院>（周南市鹿野）

	変更前		R4.4.1 無床診化	
	病床	内 訳	病床	内 訳
療養	74床	慢性期 74	0床	慢性期 0
計	74床		0床	別に介護医療院36床

総計	173床		137床 (△36)	慢性期 △36 (介護医療院+36)	137床 (±0)	回復期+18 慢性期△18
----	------	--	---------------	-----------------------	--------------	------------------

※グループ内には別に「周南高原病院」（周南市須々万・慢性期115床）がある

3、診療所

鹿野博愛病院の2病棟のうち1病棟は下松中央病院へ移管、1病棟は介護医療院へ転換することで、病床数がゼロになり、呼称が病院から無床診療所へ変更されます。

併せて、鹿野地区住民への確実な医療を提供するべく、外来部門は現状を維持し、引き続き外科・内科・胃腸科・循環器科・整形外科・リハビリテーション科を運営していきます。

4、予定スケジュール

介護医療院にパーティションの設置	2022年3月
介護医療院開設（36床）	2022年4月1日
下松中央病院へ移管（38床）	2022年4月1日
病院の廃止・診療所の開設	2022年4月1日
下松中央病院建替	2024年
慢性期109床のうち18床を回復期へ転換し、回復期46床、慢性期91床へ変更	2024年

(別添)

下松中央病院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定 令和3年 9月 改定

【基本情報】

医療機関名	医療法人緑山会 下松中央病院
開設主体	医療法人緑山会
所在地	下松市古川町3丁目1番1号
許可病床数	99床
(病床の種別)	地域包括ケア病棟 28床 療養病床 71床
(病床機能別)	回復期 28床 療養病床 71床
稼働病床数	99床
(病床の種別)	地域包括ケア病棟 28床 療養病床 71床
(病床機能別)	回復期 28床 療養病床 71床
診療科目	一般内科、呼吸器内科、循環器内科、整形外科、外科、婦人科 リハビリテーション科、歯科
職員数	155
・ 医師	8
・ 看護職員	61
・ 専門職	72
・ 事務職員	14

作成 担当者	(所属) 事務局	連絡先	(電話) 0833-41-3030
	(氏名) 平谷潤二		(メール) j-hiratani@ryokuzankai.or.jp

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

- ・地域包括ケア病棟入院基本料1（28床）【回復期】

病床稼働率 92%

- ・療養病棟入院基本料1（71床）【慢性期】

地域包括ケア入院医療管理料1（13床）

在宅復帰強化加算

病床稼働率 95%

特徴 4機能のうち慢性期が中心

② 自施設の課題

周南医療圏では、2025年の必要病床数の推計で、慢性期の病床が過剰となる予測となっているため、不足の予測が出ている回復期への転換を検討する必要がある。

現在、慢性期の13床で地域包括ケア入院管理料1を算定しているが、今後18床にする予定。

病院建替え時に、この18床を回復期へ転換する予定。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

地域における慢性期機能も必要であるため、慢性期機能を維持しつつ、不足している回復期への転換を図る。

② 今後持つべき病床機能

回復期

慢性期

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	28		46
慢性期	71		91
休棟等			
(合計)	99		137
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
R4	鹿野博愛病院より慢性期38床を移管	回復期28床 慢性期109床 計137床とする。
R6	慢性期109床のうち18床を回復期へ変更	回復期46床 慢性期91床とする

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】 (自由記載)

2024年度中に病院の建替えを終える予定。その際、慢性期109床のうち18床を回復期へ変更し、回復期46床、慢性期91床とする予定。
--

鹿野博愛病院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定 令和 3年 10月 改定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 緑山会 鹿野博愛病院
開設主体	医療法人 緑山会
所在地	周南市大字鹿野下1161-1
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	74床 療養病床 74床 慢性期 74床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	74床 療養病床 74床 慢性期 74床
診療科目	外科、内科、胃腸科、整形外科、循環器科、リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員 ・ 看護補助者 ・ その他	107名 3名(常勤) 34名 11名 7名 24名 28名

作成 担当者	(所属)事務局	連絡先	(電話) 0834-68-2233
	(氏名) 秋重 英雄		(メール) kanohaku-hp@ryokuzankai.or.jp

【1. 現状と課題】12

① 自施設の現状

届け出入院基本料 療養病棟入院基本料 1

在宅復帰機能強化加算

医療区分 2・3 の割合 80%以上

平均在院日数 293日 病床稼働率 95.3%

② 自施設の課題

- ・地域に於いて、入院施設は当院しか存在しないが、慢性期でも比較的医療必要度の高い療養病床のため、ニーズが年々減少してきている。
- ・一方で高齢者の生活の場として、医療と介護をバランス良く提供できる施設の整備が求められている。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・適正な医療の提供（外来診療）。
- ・急性期医療が終了した後の受け皿としての役割の継続。
- ・通所リハビリ、訪問介護等の介護保険事業の継続。
- ・生活の場としての施設の提供を検討。

② 今後持つべき病床機能

- ・人口減少に伴い、療養病床の削減が必要と思われ、療養病床を削減した後の転換先としては機能として介護医療院が適当と思われる。

③ その他見直すべき点

- ・医療スタッフの高齢化があり、現在の医療提供体制の維持が危ぶまれる。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

現在、将来の病床数欄は、平成 30 年度病床機能報告予定数値

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	74		0(38床は下松中央病院へ移管)
休棟等			
(合計)	74		0(38床は下松中央病院へ移管)
介護保険施設へ移行予定	—		36
うち、介護医療院	—		36

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
令和4	医療療養病床38床を下松中央病院へ移管 介護医療院36床の開設 無床診療所へ移行	

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

介護医療院への変換に伴い、病院から診療所へ名称を変更。(無床診療所)

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】 (自由記載)

--